

# JR東海労ニュース

No. 705

2005年 5月31日

JR東海労働組合

## 「社員運用の変更を廃止せよ」 今も出ているユニオン組合員の本音

会社から運輸系統の社員運用変更を迫られ、妥結したけれど、内部からの突き上げに対して「一時金はユニオンの成果だ」「海労は一時金は拒否？」などと、東海労批判をくり返すユニオン幹部。会社・幹部との思惑とは裏腹に、現場では問題点を切実に訴える組合員が多くいる！

5月11～13日、ユニオン関西地本が総対話を行った。ユニオン名古屋運輸所分会では、「JR西日本の事故を受けて、安全第一の観点から今度の制度の運用改正を廃止ないし、見直さないのか？」「駅への環流者に対する、養成・期間は明示されているが、本当に安心できない」「手当が下がったのに、組合費の見直しはないのか！組合内も財政改革しろ！」などの意見が出された(ユニオン掲示より)。

ユニオン幹部よ、今ごろになって社員運用の変更についての要求を上げるつもりなのか？総対話は単なるガス抜きではないのか！その前に、妥結したことを組合員に謝罪するのがスジだ！所詮、ユニオンには社員運用の撤回の申し入れはできっこない。

ユニオン組合員の皆さん、制度撤回は

JR東海労への結集しかありません！

ユニオンをみんなでやめれば 怖くない

ユニオン幹部は、総対話で  
意見を聞いてどうするの？